

平成20年度事務事業評価表	担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	1121
---------------	----	-------------	-----	------

事務事業名	上空通路建設事業（市道油井20号線整備費）			
総合計画、市長マニフェストでの位置付け（該当しない事業については記入不要です。）				
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇	
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト	-			
市長マニフェストの執行状況	-			

事務事業の内容

対象(受益者)	地元住民の安全を確保するため
手 段	JR三河塩津駅から蒲郡競艇場中央入場口までの間に上空通路を建設し
成果、目標	競艇ファンと地元住民との分離を図る

成果指標

成果指標名	一日当り自場入場者数		一日当り自場売上
成果指標の説明	一日当り自場入場者数の推移から、事業継続断念にいたった状況の変化を推察する		一日当り自場売上の推移から、事業継続断念にいたった状況の変化を推察する
指標の推移	平成19年度決算（実績）	平成20年度決算（実績）	平成21年度予算（計画）
成果指標	3,800人	3,338人	2,300人
成果指標	121,261千円	107,937千円	91,656千円

事業の概要

項 目	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度計画
事業執行状況	上空通路事業の一環である市道油井20号線整備事業を執行（用地測量、用地買収、損失補償など）	上空通路事業の一環である市道油井20号線整備事業を執行（不動産鑑定、用地買収、損失補償など）	上空通路はH21.3に断念、そこで市道油井20号線及び塩津駅前広場整備事業として執行（用地測量、用地買収、損失補償など）

事業にかかる人工

(単位：人)

人工計	0.30人	次長課長級	0.30人	補佐級	0.00人	係長級	0.00人	一般職	0.00人	非常勤	0.00人	再任用	0.00人
-----	-------	-------	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

人件費を含む事業費	事業費	64,002
	人件費	3,000
	合計	67,002
財源内訳	特定財源	0
	一般財源	67,002

事業の仕分け

B 改善を加え市が実施	説明	当初は、競艇ファンと地元住民との分離を図り周辺地域の安全を確保するため、JR三河塩津駅から蒲郡競艇場中央入場口までの間に上空通路を建設する計画で、平成5年3月の国道247号バイパス上空を空中横断するポートタワー完成まで事業は順調に推移していた。しかし、平成バブル崩壊以降、競艇事業は低迷を続け入場者数も減少、さらに鉄道運賃払戻制度の廃止もあって鉄道利用者も大幅に減少し競艇ファンと地元住民との分離の必要性も薄れつつある。そこで、今後も巨額の投資が要求される上空通路事業の継続を平成21年3月に断念、今後は地元から要望の強い塩津駅前周辺整備事業に専念するものとする。
-------------	----	--

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
------	-------------------------

改善点、問題点等

過去の改善点	競艇を取り巻く状況の変化（平成バブル崩壊以降の競艇事業低迷と入場者数の減少、鉄道利用者の大幅に減少）に対応し、上空通路事業の中断、見直しから、平成21年3月には事業の継続断念という大きな政策転換に至った。
現在の課題、問題点	上空通路建設事業は継続を断念したものの、地元からの長年の要望でもあり周辺対策における大きな目玉事業でもある塩津駅前周辺整備事業の早期実現に向け、今後も市道油井20号線及び駅前広場の整備に努める必要がある。
今後の改善計画	今後も引き続き地元住民と協議を重ね、より良い周辺環境の整備に努めることが望まれる。